

# ぼらんていあネットワーク

(土別市社協 朝日支部だより) 44



このマークは、社会福祉及び社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るい幸せな社会を建設する姿」を表現しています。

発行日 平成22年7月10日(土)  
発行 土別市社会福祉協議会朝日支部  
事務局 土別市社会福祉協議会朝日支所  
土別市朝日町中央4029番地  
電話 0165-28-2002  
FAX 0165-28-3322

## - 誰もが住み慣れた地域で 安心して生活が続けられるために -

### 平成22年度 福祉パトロール代表者会議(朝日地区)が開催される

去る6月4日(金)土別市朝日総合支所「第1会議室」において、平成22年度福祉パトロール代表者会議(朝日地区)が開催され、前年度実績、事業概要並びに活動費の使い方等について事務担当の生方主幹から説明を受け、本年度の取組みについて協議されました。お年寄りの一人暮らしや寝たきり老人・母子父子家庭等に対して、声かけや話し相手、家事援助等を地区推進員(民生委員)と連携し、一般市民の協力を得て実施、安否を確認するとともに高齢者の孤立防止を図り、閉じこもりがちにならないよう、見守りし支え合うことを目的としています。



生方主幹から説明を請ける地区推進員の皆さん

本事業は、昭和48年度に老人援護事業としてスタートしました。平成2年度に、土別市からの受託事業として「土別市高齢者地域ケア推進事業」が実施され、更に平成6年度からは「福祉パトロール・巡回介護教室」が追加されましたが、平成12年度より施行された介護保険制度に伴い、各種福祉サービスの見直しにより「福祉パトロール事業」は、単独の受託事業として実施され現在に至っております。

朝日地区においては、合併後の平成18年度から実施され、平成21年度においては、地区推進員が中心となった10グループにより、独居老人等の21名の皆さんをパトロールし見守りしております。

誰もがいずれ高齢者になります。高齢者が地域の中で尊厳を持って暮らせるよう、行政等社会福祉関係団体をはじめ自治会・町内会等が協働し住民みんなで、日頃から挨拶や声かけをするなど高齢者をあたたかく見守ることが大切です。

## 「ふれあい昼食会」会員等募集のお知らせ

「ふれあい昼食会」会員並びに調理賄い・送迎ボランティアを募集しております。平成22年6月末現在、新しく13人の皆さんが加入され、会員登録者は66人になりました。

「ふれあい昼食会」会員は、朝日地域にお住まいの70歳以上の方、調理賄い・送迎ボランティアはどなたでも登録ができますので、土別市社会福祉協議会朝日支部(28-2002)までご連絡下さい。

# 7・8月の行事計画

月日	曜	行事名	時間	場所
7月 3日	土	「ふれあい広場 2010 INしべつPART27」	0:00～ 16:00	士別市総合体育館及び 体育館前駐車場
4日	日		10:00～ 14:30	
23日	金	ふれあい昼食会	10:30～ 12:30	サンライズホール
8月 20日	金	ふれあい昼食会	10:30～ 12:30	サンライズホール
24日	火	朝日神社例大祭(24日～26日)		

## 「ふれあい広場 2010 INしべつ PART27」

### 「真心のバトンを次へつなげよう」

朝日中2学年 松田三貴也君の作品がふれあい標語コンクール優秀賞に輝く！



齊木会長から賞状を受ける松田君

朝日中2学年の松田三貴也君の作品「真心のバトンを次へつなげよう」が優秀賞に輝きました。

7月3日・4日の2日間にわたり「ふれあい広場 2010 INしべつPART27」が開催され、多くのボランティア・市民の皆さんのご支援ご協力により盛会裡終了しました。

「ふれあい広場」は、障がいの有無や年齢にとらわれず、市民の交流の場とし「広場」での「ふれあい」を通し「ノーマライゼーション」の考え方を普及定着していくことを目的としております。

3日午後1時から開会式が行われ、齊木士別市社会福祉協議会会長の開会の挨拶に続き、牧野士別市長を始めとする来賓の皆様から祝辞をいただきました。引続き「ふれあい標語コンクール表彰式」が行われ入賞者に賞状と記念品が齊木会長から手渡されました。朝日からは、朝日中学校第2学

## 御霊のご冥福を祈念し献花 平成22年度「朝日町招魂祭」

去る6月14日(月)忠魂碑境内において、平成22年度「朝日町招魂祭」が厳粛の内にもしめやかに執行されました。本年度は、遺族(20名)来賓(18名)総合支所並びに社協役職員(12名)の出席のもと、粥川祭典委員長の「式辞」、牧野士別市長の「慰霊の詞」、北海道連合遺族会会長町村信孝様からの「追悼の辞」を塚田朝日町遺族会会長が代読の後、御霊のご冥福をお祈りし出席者全員が献花を捧げました。式典終了後、粥川祭典委員長から悲惨な戦争の記憶を風化させることの無いよう、恒久平和の実現を求め不断の努力を誓う旨の挨拶があり、滞りなく終了しました。会場の設営、跡片付け等にご協力をいただいた総合支所住民福祉課並びに社協支部役員の皆さんご苦勞様でした。ありがとうございました。



## 命を救う、力を合わせよう。 日本赤十字の活動資金にご協力ください。

今年度も各自治会のご理解とご協力により、7月上旬～8月中旬まで社資の取りまとめをお願いしております。赤十字は、人道と博愛の精神を基調とし、明るく住みよい平和な社会を築き上げていくために活動しております。

地震、豪雨等の自然災害が起こった場合の負傷者の医療救護をはじめ国際赤十字の要請にもとづく援護等、数々の事業を行っておりますが、これらの活動費は、全て赤十字社員の社費及び寄付金等でまかなわれており、社員の増強により社資の安定的な確保が極めて重要です。昨年、朝日地区においては、695人の皆様から296,100円のあたたかい善意が寄せられました。今年度も例年どおり自治会を通じて、社資の募集を実施いたしております。皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたします。